



みえないおしごと

とくながけい / 著

見慣れたあれこれが、覗いてびっくり！回転すしは人力で、公園の噴水は、実は。自由でユニークなアイデア、ノスタルジックなタッチと巧みな構図で、読者にページをめくる楽しみと新たな視点を与えてくれる絵本です。

変な地図

雨穴 / 著

大学生栗原の祖母が、正体不明の古地図を握りしめて、不審死を遂げたという。7体の妖怪が描かれた古地図。これはいったい何なのか。謎を探るため、栗原は旅に出る。あなたには、この「古地図」の謎が解けますか？

中年に飽きた夜は

益田ミリ / 著

これは漫才か、人生の叫びか？さあ、深夜のファミレスへ。50歳たちのゆるい笑い劇場が始まる。笑って、納得！言えなかったモヤモヤもすっきり！新しいことを見つけたい気持ちは、この胸の中で枯れずにいる。

Books

今月オススメの



本を紹介します



中央公民館の
図書室から
オススメの本を
ご紹介します。

問 中央公民館図書室 (TEL 565-2434 内線 2121)

川俣分庁舎だより



110番通報の適切な利用

「110番」は、事件事故専用緊急通報電話で、福島県内は全て通信指令課で集中受理をしています。通報の際、その内容は担当が順番に質問しますので、落ち着いて答えてください。相談など、緊急を要さない場合は、最寄りの警察署や警察相談ダイヤル「# 9110」にお電話ください。

★福島警察署川俣分庁舎 TEL 024-566-3121 ★

ダニアル先生の
DAYBOOK
UKIUKI ウキウキ
Vol.28

イギリスに住んでいた古代ケルト人は、1年の終わりを10月31日として、その夜に死者の靈や悪霊が現れる信じていました。その悪霊から身を守るために仮面をかぶったり火をたりしたのがハロウィンの始まりのようです。そこで今日はイギリスの不気味な伝承や物語について紹介します。

1800年代初頭、シュルーズベリー伯爵が自宅であるアルトン・タワズに戻ると、どこからともなく老女が現れ、「コインを1枚だけいただけませんか？」と頼みました。しかし、伯爵が拒否すると、雷が落ち、風が吠え、森が彼の周囲に迫ってくるようでした。老女は、「今後、この古い樺の木が倒れることができれば、あなたの家族にも同じ



福島県政150周年記念・ 官民ネットワーク募集

福島県は令和8年8月21日に県政150周年を迎えることから、一緒にお祝い、盛り上げてくれる企業・団体を募集中です。興味のある方は申請フォームから申込ください。

登録申請はこちら！

- ①申請フォームよりお申込み
- ②必要事項を入力
- ③登録完了



福島県 150周年

【問い合わせ先】福島県文化振興課
(TEL 024-521-8633 / mail kensei150th@pref.fukushima.lg.jp)

ことが起こるだろう」と話し、去って行きました。その夜、樺の木に雷が落ち、家族の一人も倒れてしまいました。パニックに陥った伯爵は、老女が魔女であったことに気づき、使用人たちに木をすべて鎖でつなぐよう促しました。今でも、この木は鎖でつながっていて、自宅であるアルトン・タワーズは現在、英国最大のテーマパーク・リゾートとなっています。

イギリスにはこの他にもたくさんの伝説があります。ネッシーの伝説もその一つです。川俣の伝説についても教えてください。それでは、私のハロウィーン・コスチュームをお楽しみください。



Smile of This Month



今月のスマイル

大好きな我が子の笑顔を、広報かわまたに掲載しませんか？
掲載を希望される方は、総務課へ電話（内線 1105）、またはメール
(soumu@town.kawamata.lg.jp) で問い合わせください。



ゆうご
香野 友吾くん（小神・5歳）

いつもニコニコ、元気いっぱいの友吾。天真爛漫な笑顔にいつも癒されています。宇宙が大好きで、毎日色んな星を描いたり作ったり。「大きくなったら宇宙飛行士になって月に行きたい」と話す姿に成長を感じます。どんな夢も応援しているね！これからもその太陽のような笑顔でのびのびと育っていってね… パパ、ママより♥



ひろと
菅野 大翔くん（福沢・5歳）

5歳になってから、今までよりもいろんなことに興味を持つようになり、なんでも自分からやってみたい！と挑戦する姿が増えて、とてもかっこいいです。最近は、製作が好きで家やこども園でも自分で工夫しながら、たくさんものを作っています。これからもたくさん遊んで元気に成長してね… ママより♥

3枚のチケットのうち1枚は、運命のくじを引いて店舗が決まります！

農学部 農業生産科学科
近大コラボ商品販売

近畿大学レポート -KINDAI UNIVERSITY REPORT-

vol.14



11月22日から24日にかけて旧飯坂小学校で開催された「Kawamata Coffee Festival 2025」。今年から近畿大学と川俣町の共同の開催となり、近畿大学からは計30名が参加し、出店・受付、会場整備などに携わりました。



齋藤涼真さん
経営学部3年

出店依頼や営業をしてイベントを運営することの大変さを実感しました。一方で会場に来たお客様の笑顔を見て達成感も感じることができました。

人見汐音さん
経営学部3年

町内外から多くの人に来ていただき、コミュニケーションを取る中で、人の温かさが一番印象に残っています。また、例年より売り上げも多く良かったです。